

生産方式革新実施計画の概要【農事組合法人 和久楽】

2025年
8月28日認定

活用するスマート農業技術

収量センサ付きコンバイン

新たな生産の方式



データを産地内で共有し、次期栽培に活用

ソバにおいて、営農管理システムと連携する収量センサ付きコンバインを新たに導入し、当該コンバインから得られるデータ（収量・水分量等）及び営農管理システムに記録したデータ（生育状況、施肥量等）を産地内の他の農業者と共有・分析し、次年度の栽培管理の最適化を図る。

<申請者>

農事組合法人 和久楽（山形県村山市）

経営概況（2025年6月時点）

経営規模：ソバ65ha、水稻 57ha

従業員数：1名

<対象品目>

ソバ

<計画の実施期間>

5年間

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



刈取作業と営農管理システム



農事組合法人和久楽 笹原代表

～認定を受けて一言～

ソバの作業受託面積の拡大に伴う、ほ場データの共有・分析を他の農業者と共に行うことにより、栽培管理をより精緻に行い、収量UPにつなげていきます。